療育指導のひまわり教室が

スタート

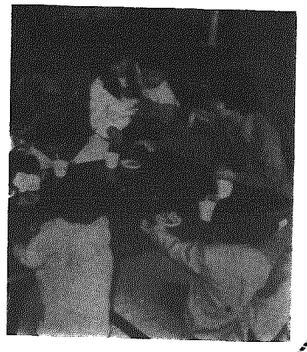
村では今年度の新しい事業として、みんなと一緒に遊べない、少し言葉に問題があるなど、就学前の子供を対象に療育指導を実施することになりました。これをひまわり教室と名付け、この開所式が四月十七日横越分館において来賓に中蒲福祉事務所長などを招き、当該保護者や村の関係者の間でおこなわれました。

この療育指導は、二年前から子供達の保護者から村へ要望が出されていたもので「保護者達の共通した悩みなどを話し合ったり、子供達が伸びのびと療育が受けられる場を作ってほしい」ということからそれらの運動が発展し、このたびの療育教室開設となったものです。

▲ ひまわり教室の開所式

このひまわり教室は、当面は月二回開催し目標は週一回において段階的にすすめる計画で指導には専任の保母、保健婦、児童相談所指導員や医師などが当ることになっております。

今回このひまわり教室に入所した子供は七名でしたが、この他にも言葉の問題や、しつけなどに悩みのある保護者の相談にも応じて行くことになっています。



充実した療育指導を

（Aさん）

二年前から村へ子供達の共通した悩みを親達が話し合ったり、子供が伸びのびと遊べる場を作ってほしいということで、要望を村政懇談会などでお話し、運動をしてきました。

そして今回ようやく療育指導のひまわり教室が村当局のご理解で開所され、大変嬉しく思います。

今後この療育教室で、ある程度の所まで達した子供を普通の保育園へ入園できるようにしてほしいと思います。

またこの療育教室は、施設の面で不十分な所が多いと思いますが今後「けが」をしないような施設と、この子供達は外で遊ぶことが少ないので屋外遊具などを作ってほしいと思います。

ひまわり教室に期待！

（Bさん）

私の子供の場合軽度ですが他にも大変な子供が沢山います。私自身この療育教室が出来て大変ありがたいと思っています。今は勤めをやめ、自宅で子供と一緒にいますが、思うようにいかず困っています。

この療育教室で来年の保育園入所まで普通の子供達と一緒に行けるようになったらと期待しています。

「人権尊重の村」を宣言

人権モデル推進協発足

▶宣言文を書き上げる収入役

人権を尊重し合って、明るい住みよい村づくりを図るため、横越村人権モデル地区推進協議会発会式が、四月十七日公民館で開催されました。

発会式には、新潟地方法務局長、村議会議長、県人権連合会長等の来賓のほか、村内各種団体三十余名が出席し、一年間にわたる事業計画及び予算、会則等を審議決定。

そして、「人権尊重村の宣言（別掲）を行ない閉会しました。

これによりますと、協議会長には渋谷村長が充たり事業は大別して広報、啓発、相談等の活動を小中学生をはじめ、一般村民に広く展開することとされ、予算は村費三十万円、国費三十万円その他十五万円、総額七十五万円計上されています。

※人権尊重村の宣言※

基本的人権の尊重は、日本国憲法の保障する根本理念である。

すなわち、国民は憲法の精神に基づき何人も社会において健康にして幸福な生活を営むべき固有の権利を有するものであり、それは永久不可侵の権利として保障されているものである。

しかしながら、近年における産業経済の発展は、物質文明の飛躍的な向上をもたらした反面、公害問題、社会意識の稀薄、道徳心の欠如及び法秩序の軽視等、由々しい事象を生み出し、個人の生存権、生活権をおびやかしている実情にある。

これは正に基本的人権の尊重を基礎として営まれる民主的自由社会の発展を阻害するものとして誠に憂慮にたえないところである。

かかる社会情勢下にあっては、基本的人権の擁護は緊急にして重大な問題であると思料するものである。

よって横越村は、横越村民の安全をはかり、より平和で明るい民主的地域社会実現のため、最大の努力を傾注することを誓い、ここに横越村を「人権尊重の村」とすることを宣言する。

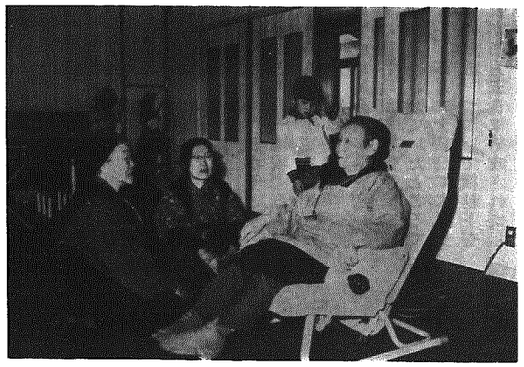
昭和五十六年四月一日

横越村

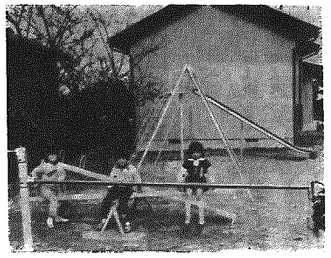
どうぞ気軽に…使ってください

焼山地区に

自治宝くじコミュニティ施設が完成！



▲このマッサージ機とっても気持ちいいてばね！



▲友達と毎日このシーソーやブランコで遊んでいるんよ！

焼山地区は、昨年十一月全国宝くじの委託宣伝費を財源とした自治総合センター（財団法人）のコミュニティ助成事業の補助金を受けて集落内の防犯灯や集落センターの広場にブランコ、スベリ台、シーソー、鉄棒などの施設を整備し、三月末日全事業が完成しました。

同地区は、昭和五十四年度に地域コミュニティづくりの拠点施設である集落開発センターを県・村補助金で建設しコミュニティ活動を積極的に推進していた矢先、自治宝くじのコミュニティ助成金一五〇万円全額補助の朗報で、地元の人たちは大喜び。整備された施設を利用して更に健全なコミュニティ活動の発展を期待したいものです。

整備されたおもな施設

⊙生活安全確保推進施設
　羅川原境から地区に通じる幹線道路と地区内に防犯灯一八灯設置。消火器を地区内に六カ所配置

⊙健康増進、管理施設
　健康ぶらさがり機、マッサージ機

⊙お祭り、運動会等コミュニティ行事推進施設
　本欅太鼓、テント

⊙体育レクリェーション活動推進施設
　ブランコ、スベリ台、シーソー、中鉄棒、フェンス、輪投げセット、アトラックセット、ホームピンポン、バスケットセット

活発な意見交換

地域と行政のパイプ役

—嘱託員（区長）会議開く—

昭和五十六年度初の嘱託員（区長）会議が、さる四月十五日公民館で開催されました。

会議には、村長はじめ各課長等が出席し、昭和五十六年度の重点施策や予算等について、村長、助役から説明する一方、円滑な行政運営について協力を要請しました。

また村行政全般にわたる質疑や要望事項を聞くなど意見交換も行ないました。

要望のあった主なものとしては、道路標識の設置を、宅造開発に防犯灯を条件に掲示板の設置を、二本木にも分館を、道路の舗装を、団地の不在地主対策を等々数多くの要望が出されました。

昭和五十六年度の嘱託員は別紙のとおりですが、今年は十九名中十三名が交替されました。

嘱託員（区長）氏名

地区		氏名	管内戸数
横越	上	桜井貞雄	120
	中	神田英作	278
	下	◎羽田義次	166
	川根谷内	上村三一	189
沢海	上	仁多見利衛	105
	中	坂井四雄	106
	下	○田中長平	85
	焼山	佐藤安喜夫	33
木津	上	佐藤千代志	55
	中	○小野塚良実	89
	下	今井朝一	88
二本木	上	山田正次	58
	中	廣瀬武雄	246
	下	○三沢秀雄	54
小杉	上	○小舟戸桂二	80
	中	遠藤彦太郎	62
	下	羽賀市司	61
藤山		田村茂理	45
駒込		岩田精二	28

◎＝連合区長　○＝代表区長